

2009年度 上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科
大学院生・次世代研究者ワークショップ

第三回 歴史的都市空間の復原—アジア大陸部における王権思想の検討—

開催日時2009年11月28日(土曜日)13:30-17:00

●コメンテーター 桜井由躬雄氏 [東京大学:名誉教授]

プログラム

13:00

開場

13:30-40

開会の挨拶、趣旨説明

13:40-15:40 発表(発表25分間、事実確認5分間)

I 東南アジア(13:40-14:40)

13:40-14:05 報告1『アンコール期の王権と都市—バライを中心に—』

[佐藤恵子 上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科地域研究専攻 博士後期課程]

14:10-14:35 報告2『コンバウン朝バドン王治世における王都アマラプラの
都市構造について』

[石川和雅 上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科地域研究専攻 博士前期課程]

II インドーカシミール

14:40-15:05 報告3『カシミールの都スリナガルと王朝支配の正統性
—その変遷を巡って—』

[小倉智史 京都大学大学院文学研究科歴史文化学専攻 博士後期課程]

III 朝鮮

15:10-15:35 報告4『朝鮮漢城の都市空間と王権』

[鈴木開 東京大学大学院人文社会系研究科韓国朝鮮文化研究専攻 博士課程]

15:40-15:50

休憩

15:50-16:50

総合討論

16:50-17:00

閉会挨拶

会場:四ッ谷キャンパス図書館8階 L-821教室